

東京都におけるオープンデータの取組

1. 現状

- 平成27年3月 「東京都オープンデータ一覧（試行版）」を開設
10月 「東京都オープンデータ推進庁内ガイドライン」策定、周知
平成28年度 都区市町村職員向けセミナー・アイデアワークショップ開催

平成28年12月時点で、2,053ファイルを公開（うち、機械判読に適した形式のものは2%）

2. 今後の取組

(1) 基本的な考え方

- 「公共データは都民共有の財産」⇒ 都の積極的な情報公開の一環としてオープンデータを位置付け
- Web公開データは、基本的に全てオープンデータ化(約38万件)。重点分野(13分野 4万件)から優先的に公開

【重点分野】①人口減少、少子高齢化 ②防災、災害計画 ③まちづくり ④産業雇用創出 ⑤医療、福祉 ⑥税金 ⑦生活
⑧交通情報 ⑨オリンピック・パラリンピック ⑩観光 ⑪環境 ⑫芸術文化 ⑬治安

- 利用者が求めるデータを容易に検索・取得することができる「東京都オープンデータカタログサイト」を構築(平成29年3月)
 - ・ 都はカタログサイトにデータを公開、地域に有用な情報を持つ基礎的自治体である区市町村へも参加を促す

(2) データ公開・利活用促進

- スピード感を持って、公開データの質・量アップ
目標：平成32年度には、4万件を機械判読・二次利用可能な形でオープンデータ化
- 区市町村も巻き込んだデータ利活用イベントの開催